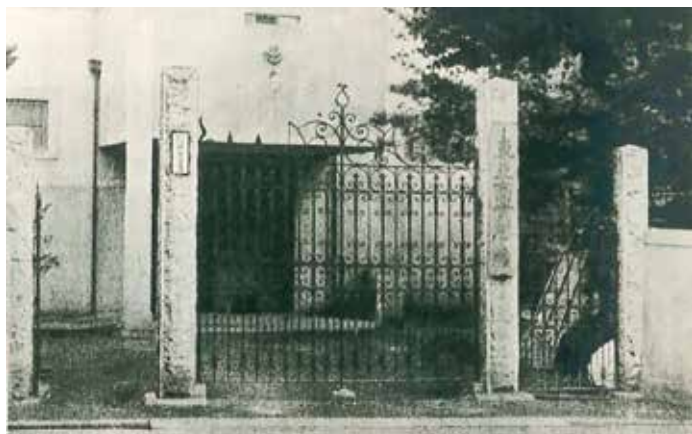


東亜学園一世紀の歩み・シリーズ ③ ～「東亜商業学校」の発展（戦前その一）～

昭和3年7月「財団法人野方学園」が新しく設立され、新法人は東亜商業学校（昼間5年制）と野方商科学校（夜間4年制）の二つの学校を傘下に持つ新体制で出発した。その後昭和5年には東亜商業学校に第二本科（夜間4年制）が開設されると野方商科学校は第二本科に合併統合

され事実上閉校となった。さらに昭和7年には第三本科（速成実務科・昼間2年制）が開設され、これにより本校は第一本科・第二本科・第三本科という三つのコースを擁する一大商業学校としての陣容を整え、全国から有望な学生を迎え発展していく。



昭和17年頃の正門

大正13年に創立された東亜商業学校は昭和3年7月に「財団法人野方学園・東亜商業学校」として生まれ変わり、「野方学園」は傘下に東亜商業学校と野方商科学校の二つの学校を持つ新体制でスタートをきった。

夜学の野方商科学校は昭和4年に東亜商科学校と改称、その後も発展を続け大日本国民中学会館（神田駿河台）に分教場を設置するまでになった。しかし昭和5年4月第二本科が開設されると「東亜商科」在校生は検定試験の後東亜商業第二本科の各学年に編入され、事実上「東亜商科学校」（旧「野方商科学校」）は閉校した。昭和7年4月には「第三本科」（商業速成実務科・昼間2年制）が開設され約50名が入学した。これにより東亜商業学校は「第一本科」（昼間5年制）、「第二本科」（夜間4年制）、「第三本科」（昼間2年制）を設置し定員550名を擁する商業学校へ発展した。このうち第一本科・第二本科はいわゆる「甲種」実業学校で卒業生は官公私立大学等上級学校への入学資格を有し普通文官にも任用された。東京都公文書館所蔵の『學則並生徒定員変更認可申請書』（昭和6年12月）には当時のクラス数と定員数が添付されており、また『中野区史・下巻二』（中野区役所編纂・昭和29年発行）72頁にも昭和13年度の職員数・学級数・生徒数の詳細な記載がある。

第一本科	学年	一年	二年	三年	四年	五年	計
	学級数	1	1	1	1	1	5
	生徒数	50	50	50	50	50	250
第二本科	学年	一年	二年	三年	四年	計	
	学級数	1	1	1	1	4	
	生徒数	50	50	50	50	200	
第三本科	学年	一年	二年	計			
	学級数	1	1	2			
	生徒数	50	50	100			



分教室が置かれた神田駿河台の大日本国民中学会館。大日本国民中学会は野方学園設立者の一人・河野正義先生が設立し経営した。



昭和8年頃の珠算・簿記授業

（『中野区史下巻二』72頁「私立東亜商業学校」より）

創 立 本校は財団法人野方学園の経営にかゝり、大正十三年五月に創立された。

目 的 商業学校規程に基き、一般商業に従事する男子に必要な教育を施し、徳性の涵養に努むることを目的としてゐる。第一本科、第二本科、第三本科の三科に分ち、その修業年限は第一本科五箇年、第二本科四箇年、第三本科二箇年である。

（中略）

入学資格は各科共国民学校初等科を卒業したものである。現在（昭和十四年三月一日）職員数二四、学級数一五、生徒数第一本科三二一名、第二本科二〇四名、第三本科四七名、合計五七二名。

理 事 長 戸野 周二郎

歴代校長 西尾豊作 寺本伊勢松 竹内叔雄 龍野定一 松岡峻三



（中野区中央図書館蔵）



令和2年度事業計画 予算案などを審議

6月20日(土)に同窓会理事会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に鑑み今年度は中止と致しました。

但し、今年度予算・昨年度の決算等の議事があるため6月25日(木)に美濃和理事・山浦理事による監査を行い、27日(土)に岡本同窓会理事長・高崎同窓会副理事長・佐々木同窓会会長・小井戸教頭・森田教

諭・鈴木教諭(同窓会事務局)により議事の承認を頂きました。

本来ならば事前に資料を配布し理事の皆様から承認を頂くところですが、昨今の諸事情を考慮し、このような形式をとらざるを得なかったことをお詫びし、ご承認いただけます様宜しくお願い致します。

令和元年度 同窓会決算書

平成31年4月1日より令和2年3月31日まで

(収入の部)		(単位：円)		
科 目	予 算	決 算	増 減	備 考
同 窓 会 入 会 金 収 入	5,085,000	5,070,000	▲ 15,000	15,000円×338名
同 窓 会 費 収 入	5,085,000	5,070,000	▲ 15,000	15,000円×338名
参 加 費 収 入	0	27,000	27,000	注1
基 金 運 用 収 入	20,000	23,209	3,209	利回り0.07%
利 息 収 入	15	36	21	
小 計	10,190,015	10,190,245	230	
前年度繰越支払資金	4,417,002	4,417,002	0	
合 計	14,607,017	14,607,247	230	

(支出の部)		(単位：円)		
科 目	予 算	決 算	増 減	備 考
寄付金支出(育英事業会)	7,000,000	7,000,000	0	
基 金 積 立 金 支 出	1,000,000	1,000,000	0	
卒 業 記 念 品 支 出	813,600	831,480	17,880	注2
新 聞 発 行 費 支 出	340,000	341,000	1,000	「東苑」第28号発行費
会 議 費 支 出	50,000	37,650	▲ 12,350	理事会 2回
入会歓迎会費支出	50,000	0	▲ 50,000	
幹事総会準備費支出	20,000	0	▲ 20,000	
幹事総会援助費支出	200,000	54,745	▲ 145,255	総会用飲み物代(11/9)
通 信 費 支 出	400,000	400,280	280	
渉 外 費 支 出	200,000	0	▲ 200,000	
事 務 費 支 出	30,000	19,861	▲ 10,139	
予 備 費	50,000	0	▲ 50,000	残高証明手数料、封筒代
小 計	10,153,600	9,685,016	▲ 468,584	
次年度繰越支払資金	4,453,417	4,922,231	468,814	
合 計	14,607,017	14,607,247	230	

基金積立				
項目	期首金額	当期組入額	当期取崩額	期末金額
同 窓 会 基 金	31,000,000	1,000,000	0	32,000,000

令和元年度 育英奨学事業会決算書

令和元年4月1日～令和2年3月31日まで

(収入の部)				
科 目	予算	決算	差 異	備 考
寄付金収入(同窓会)	7,000,000円	7,000,000円	0円	
寄付金収入(後援会)	72,000円	138,240円	66,240円	
基 金 運 用 収 入	46,000円	55,064円	9,064円	利回り0.06%
基 金 取 崩 収 入	10,000,000円	10,000,000円	0円	
利 息 収 入	50円	66円	16円	
期 末 未 収 金		▲ 146,800円	▲ 146,800円	特待解除者3名の授業料返戻
小 計	17,118,050円	17,046,570円	▲ 71,480円	
前年度繰越支払資金	5,507,785円	5,507,785円	0円	
合 計	22,625,835円	22,554,355円	▲ 71,480円	

(支出の部)				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
授 業 料 援 助 支 出	9,315,000円	8,888,600円	▲ 426,400円	A特待32名、B特待7名
入 学 金 等 援 助 支 出	7,745,000円	8,455,000円	710,000円	
会 議 費 支 出	50,000円	10,475円	▲ 39,525円	
通 信 費 支 出	2,000円	492円	▲ 1,508円	
事 務 費 支 出	5,000円	1,404円	▲ 3,596円	
小 計	17,117,000円	17,355,971円	238,971円	
次年度繰越支払資金	5,508,835円	5,198,384円	▲ 310,451円	
合 計	22,625,835円	22,554,355円	▲ 71,480円	

基金				
期首金額	当期組入額	当期取崩額	期末金額	備 考
87,000,000円	0円	10,000,000円	77,000,000円	

令和2年度 同窓会予算書

令和2年4月1日より令和3年3月31日まで

(収入の部)		(単位：円)		
科 目	本年度予算	前年度予算	差 異	備 考
同 窓 会 入 会 金 収 入	5,280,000	5,085,000	195,000	15,000円×352名
同 窓 会 費 収 入	5,280,000	5,085,000	195,000	15,000円×352名
基 金 運 用 収 入	10,000	20,000	▲ 10,000	利回り0.03%
利 息 収 入	15	15	0	
小 計	10,570,015	10,190,015	380,000	
前年度繰越支払資金	4,922,231	4,417,002	505,229	
合 計	15,492,246	14,607,017	885,229	

(支出の部)		(単位：円)		
科 目	本年度予算	前年度予算	差 異	備 考
寄付金支出(育英事業会)	7,000,000	7,000,000	0	
基 金 積 立 金 支 出	1,000,000	1,000,000	0	
卒 業 記 念 品 支 出	880,000	813,600	66,400	2,500円×352名
新 聞 発 行 費 支 出	341,000	340,000	1,000	「東苑」第29号発行費
会 議 費 支 出	50,000	50,000	0	理事会 2回
入会歓迎会費支出	50,000	50,000	0	
幹事総会準備費支出	20,000	20,000	0	バッグ・皿等容器
幹事総会援助費支出	200,000	200,000	0	親睦会援助費等
通 信 費 支 出	400,000	400,000	0	理事会室内状・幹事総会案内状・「東苑」等発送費他
渉 外 費 支 出	200,000	200,000	0	
事 務 費 支 出	30,000	30,000	0	残高証明手数料、封筒代等
予 備 費	50,000	50,000	0	
小 計	10,221,000	10,153,600	67,400	
次年度繰越支払資金	5,271,246	4,453,417	817,829	
合 計	15,492,246	14,607,017	885,229	

基金				
項目	期首金額	当期組入額	当期取崩額	期末金額
同 窓 会 基 金	32,000,000	1,000,000	0	33,000,000

令和2年度 育英奨学事業会予算書

令和2年4月1日より令和3年3月31日まで

(収入の部)				
科 目	本年度予算	前年度予算	差 異	備 考
寄付金収入(同窓会)	7,000,000円	7,000,000円	0円	
寄付金収入(後援会)	50,000円	72,000円	▲ 22,000円	
基 金 運 用 収 入	20,000円	46,000円	▲ 26,000円	利回り0.03%
基 金 取 崩 収 入	10,000,000円	10,000,000円	0円	
利 息 収 入	30円	50円	▲ 20円	
期 末 未 収 金 収 入	146,800円		146,800円	
小 計	17,216,830円	17,118,050円	98,780円	
前年度繰越支払資金	5,198,384円	5,507,785円	▲ 309,401円	
合 計	22,415,214円	22,625,835円	▲ 210,621円	

(支出の部)				
科 目	本年度予算	前年度予算	差 異	備 考
授 業 料 援 助 支 出	9,248,400円	9,315,000円	▲ 66,600円	S特待2名、A特待38名
入 学 金 等 援 助 支 出	7,475,000円	7,745,000円	▲ 270,000円	
基 金 組 入	0円	0円	0円	
会 議 費 支 出	50,000円	50,000円	0円	
通 信 費 支 出	2,000円	2,000円	0円	
事 務 費 支 出	5,000円	5,000円	0円	
小 計	16,780,400円	17,117,000円	▲ 336,600円	
次年度繰越支払資金	5,634,814円	5,508,835円	125,979円	
合 計	22,415,214円	22,625,835円	▲ 210,621円	

基金				
期首金額	当期組入額	当期取崩額	期末金額	備 考

同窓会 総会によせて



東亜学園同窓会会長
佐々木 義孝

同窓会の皆様におかれましてはご健勝の事と拝察いたします。

今年はコロナ禍の中、毎年の行事としての同窓会入会式も中止となり新規の同窓生を迎えることもかなわず、今般の同窓会総会も中止となり、お詫び申し上げます。

本年入会の同窓生には、苦難を人生の経験として頂ければ幸いです。

今年の第一回同窓会理事会はコロナ禍諸事情もあり、三役のみで執り行い(岡本同窓会理事長、高崎同窓会副理事長、佐々木同窓会長)学園と協議し同窓会予算及び育英奨学事業会及び会計報告を承認致しました事を報告します。

同窓生に於かれましては職種にも寄りますが、働き方改革とコロナ禍に於い

て、週の後半は自宅にて仕事をされている同窓生もいるかと思えます。業務形態の変化により勤務評価が難しくなり、楽ではありますが利益主体で人間関係が希薄になり、少々つまらなくなりました。いつの時代も「他人親切丁寧自己奮励努力」でありたいものです。

近い将来、入学式、卒業式、同窓会入会式、伝統の弁論大会も新たな方式になるのかと思えます。スマホ携帯で何時でも見られるとか今風かもですね。

学園及び同窓会行事が普通の生活になり、次世代の同窓生が学園生活に楽しい青春を送られるよう希望しご挨拶とします。

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと推察いたします。また、常日頃、本校の教育及びクラブ活動をご支援、ご声援頂き誠にありがとうございます。

本校は、校訓「他人親切丁寧 自己奮励努力」のもと、教育方針として「自主自律」を掲げ、生徒達には分かり易く「自己判断 自己責任」として、具体的に教育指導を行っております。現在の教育の至る処で生徒の自主性と判断力、計画性を養うようにしています。

また、今年度より、この校訓をさらに具体的に表した四つの教育要素を掲げております。それらは、現代のアメリカの巨大IT企業の創業者たちが、共に仕事をする人々に求めている素養であり、世界で戦うために求められる事柄であります。それらは、(1) 知性を持つこと、(2) 誠実であること、(3) 他者を敬うこと、(4) 最後までやり遂げることであり、何れも、本校の校訓にも含まれている事柄ですが、今回、さらに明確に分かり易くしています。インターネットを基盤に、情報流通速度が速い時代を生きていくには、情報技術を使いこなす能力と、全世界的(グローバル)な視野と世界の人々の中に入っていける素養が求められます。本校も情報機器を用いた学習環境を整備中ですが、この先の一〇年、二〇年を見据えて、求められる教育を模索しております。最近では、中学校にプログラミングの授業

が設けられるとのことで、これに対応するだけでなく、一步先んじた教育内容を展開することが必要であると考えています。私自身、株式会社東芝の原子力技術研究所において伝熱流動研究に携わっておりました関係で、原子炉事故時の事象進展解析コードの開発を行っておりました。プログラミングの面白さ、新しい要素を導入する上での

東亜学園は今



理事長・校長
矢野 隆

勘所など、プログラミングで気を付けなければならない部分を押さえた教育を目指していきたいと考えます。

他方、グローバル教育の基盤として、日本の国の成り立ちを知ることは、外国の方々と話をする上で必要な事柄です。本校では、昨年度より、日本の国の成り立ちに関係する近畿地方への修学旅行を通じて見聞を広めることを行っております。何れ、特定のコースの修学旅行を海外語学研修を兼ねて実施できればと考えます。外国の方々の中に入り、自分の考えを理解してもらい、共感を得ながら何かを成し遂げていく力

を持ってもらいたいと思います。しながら、新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、人の移動が制限され、オンラインによるコミュニケーションが増えてきております。現地に行くことの前に、オンライン英会話によるスキルの向上を先にやらなければならないかもしれません。

この様に、これからの時代は、情報機器の発達により、実際に現地に行かなくても事が済むような方向に進むと考えられ、その場合に必要とされることは、バーチャル(非現実)空間に於いて、他人と交流し、色々な事柄を経験する環境です。このことにより、実際に移動するコストが削減され、今まで外国に飛行機で行って、外国の方と交流していたことが、電腦空間で行われる、バーチャル留学のような形になるのではないのでしょうか？

十年後、二十年後を見据えた学校運営・経営が、強く求められる状況となってきましたことを、この新型コロナウイルスの全世界的な蔓延で、ますます、思う今日この頃です。

学園は、大正十三年(西暦1924年)に創立し、あと四年程で創立百周年を迎えます。その時に、学園とそれにかかわる人々が確固たる希望を持てるように、常に前に進むことを念頭に頑張っ

東亜学園一世紀の歩み・シリーズ ③

～「東亜商業学校」の発展（戦前その二）～

昭和7年、竹内叔雄^{よしお たつのていいち}理化学博士が第3代校長として招聘され、昭和9年には龍野定一^{りょうのちやういち}先生（旧制中野中学校長）が本校に赴任、程なくして第4代校長に就任した。昭和11年寺本伊勢松^{と の しゅうじろう}理事長が死去し、同年戸野周二^{と の しゅうじろう}先生が第2代理事長に就いた。その後校長は第5代松岡校長、第6代鶴田校長と代わり昭和16年には樋貝詮三^{ひがい せんぞう}法学博士が第3代理事長に

就任、昭和19年には校長職を兼務し第7代校長となった。その間、本校は昭和16年頃から就学人口増加の影響を受け、生徒数も飛躍的に増大し校舎も増築され、北海道から沖縄までさらには朝鮮・台湾の外地を含む全国各地から向学心旺盛な多くの生徒が入学し、戦前における一つの最盛期を迎えることとなった。



西側校舎（左）と増築された北側校舎（右）・昭和17年頃



台湾出身の卒業生たち（昭和18年12月）



野方学園第2代理事長
（昭和11年～昭和16年）

と の しゅうじろう
戸野 周二郎

慶應2年京都府舞鶴生。明治24年東京高等師範学校文科卒。東京高等師範学校教授、東京市下谷区長を経て大正8年東京市助役に就任した。大正14年四日市市長に就任し昭和8年まで務めた。昭和11年野方学園理事長に就任、著書に『学校及教師と図書館』等がある。



著書『学校及教師と図書館』
（宝文館・明治42年）



野方学園第3代理事長
（昭和16年～昭和28年）
第7代校長
（昭和19年～昭和28年）

ひ が い せんぞう
樋貝 詮三

明治23年山梨県生。中央大学夜間法科を経て大正7年京都帝国大学法科卒。法学博士。法制官僚・中央大学講師を経て昭和21年衆議院議員に当選し同年衆議院議長に就任、24年国務大臣に就任した。本校には昭和16年保険庁長官在任中に野方学園理事長として招聘され、昭和19年には校長職を兼務、28年に死去するまで在任した。



樋貝先生筆「聖徳流溢」



第 3 代校長
(昭和 7 年～昭和 9 年)

たけうち よしお
竹内 叔雄

明治23年東京生。大正4年東北帝国大学卒業後、京都帝国大学理学部で植物学の研究を続け昭和6年理学博士となる。

三省堂京都出張所長を経て昭和7年東亜商業学校校長に就任した。先生は「竹博士」として著名で竹類に関する多数の著書がある。



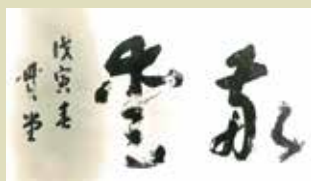
著書『竹の本』(昭和17年昭森社)



第4代校長
(昭和10年～昭和14年)

たつの ていいち
龍野 定一

明治22年鹿児島県生。大正2年広島高等師範学校卒業。鹿児島県大島中学校長を歴任後上京し昭和8年旧制中野中学校(現明大中野高校)校長に就任した。昭和9年本校に赴任、翌年に本校校長に就任し14年まで在任した。その著書『厳訓無処罰の教育』にあるように先生は「無処罰・無試験」の教育を唱えた。



龍野先生筆「敬愛」



第5代校長
(昭和14年～昭和15年)

松岡 峻三

「文部省實業學務局」文書には「昭和14年3月24日付申請松岡峻三校長ト定ムルノ件認可。昭和14年4月11日」とあり、鶴田定方先生が第6代校長に就任する昭和15年末まで2年近く在任した。



松岡校長の自筆署名



第6代校長
(昭和15年～昭和19年)

鶴田 定方

明治23年山梨県生。大正15年東京高等師範学校博物科専攻科卒。和歌山師範学校教諭、小林高等女学校校長、興亜院調査官等を歴任後、昭和15年本校校長に就任した。著書に『諸官立学校入学試験動物学問題模擬答案集』等がある。

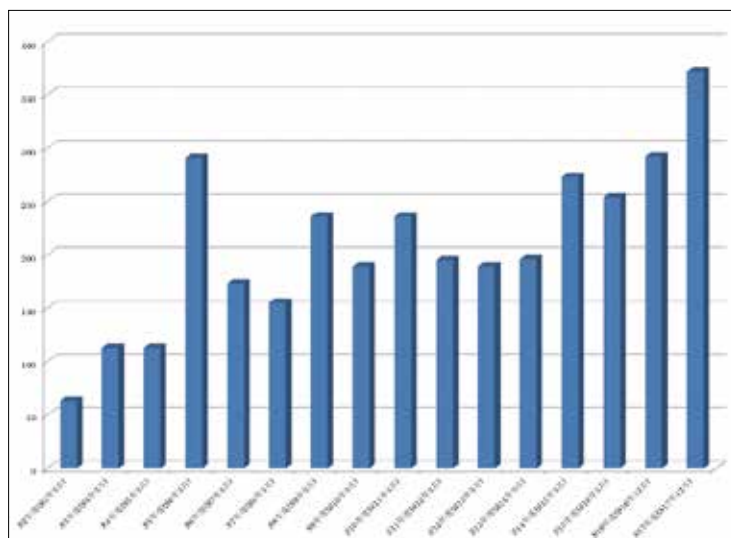


著書(宝永館・大正4年)

本校所蔵の『昭和二年度以降・卒業生名簿・東亜商業学校』には、第1回卒業生(昭和3年3月卒)から昭和17年までの第1本科生・第2本科生・第3本科生の卒業生約4千余名の氏名・出身地等が記されている。それによると生徒は北は北海道から南は沖縄までほぼ全国から、さらには朝鮮・台

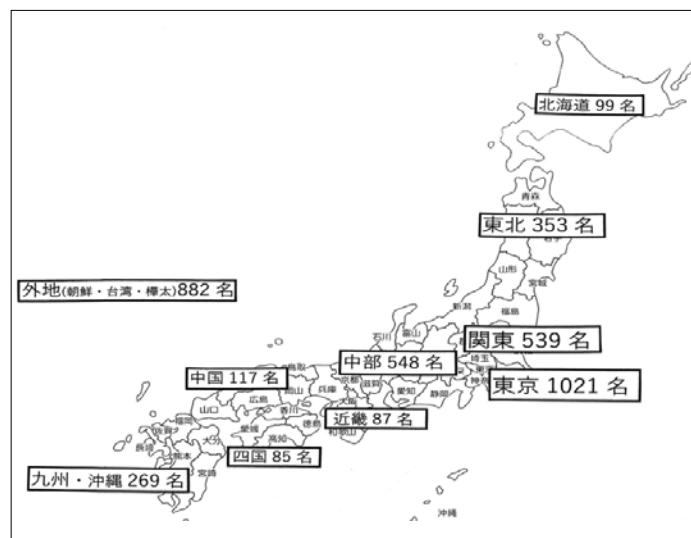
湾の外地からも多数入学したことが分かる。台湾出身者の中にはペリカン石鯨社長・剛華方氏や香港財界人の鄭天順氏など財界で活躍した者や医師として成功した者もいた。また朝鮮出身者の中にも全錫列氏のように黄海道議員となって政界に進出した者もいた。

昭和二年度～昭和17年度の卒業生数
(第1,2,3本科)



『昭和二年度以降 卒業生名簿 東亜商業学校』より

昭和二年度～昭和17年度の卒業生出身地



『昭和二年度以降 卒業生名簿 東亜商業学校』より



検温の様子

4月7日に緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルスが猛威をふるう中、年度当初から東亜学園も休校の措置をとった。その後、緊急事態宣言は5月25日に解除され、6月1日から学校が段階的に再開された。それから5か月ほどが経つが、いまだ都内の感染者は落ち着きを見せず、予断を許さない状況だ。

そのような中で、東亜学園で行っている感染拡大の防止策を紹介する。まず登校時に検温を徹底している。学校の入り口に高精度非

接触サーモハイブリッドカメラを設置し、生徒や入校する方の体温を測り、37.5度以上の発熱者がいないか観察している。ハンドタイプの体温計も併用し、体温管理を徹底。さらに生徒には毎日自宅で検温をしてきてもらい、健康観察票に体温と症状を記入して持ってくるようになっていく。

校内には様々な場所にアルコール消毒液を設置し、入校するときはもちろん、何かを触ったときなどは適宜消毒をすることができる。

担任は1日の終わりに、生徒たちの机を消毒液で拭くことで極力生徒がウィルスに触れる機会が少なくなるようにしている。

換気も徹底をしている。窓やドアを開けて空気の入替えをしつつ、各教室に1台ずつ空気清浄機が設置され、空気中のウィルスの飛散量に配慮した。

現在の状況を鑑み、授業時や昼食時には、向かい合わせにならないよう、前を向いた状態を維持することに留意している。食堂は営業を再開するも、座席数を限定して利用可能となっており、向かい合う席には衝立が設置された。D-Proも座席数を約半分に減らしての再開となっている。なお、試験前など、D-Proが混み合う時期には、今月から公平性の観点から抽選方式で席が決定されることになった。希望する生徒は前日までに申し込みをすることになっている。

今後新型コロナウイルスの影響がどのように出てくるのか不透明な部分が多くあるが、ひとまず学校が再開でき、5か月間を送ることができていることを嬉しく思う。これからも感染防止に留意しながら学習活動が継続できることを願っている。



臨時休校から学校再開・通常授業に戻るまでの取り組み

4月 7日	火	学校休校
4月13日	月	課題配信(以降随時配信)
5月11日	金	オンライン授業試行期間(～16日)
5月18日	月	オンライン授業開始(～31日)
6月 1日	月	学校再開(登校は3年生のみ)
6月 2日	火	学校再開(登校は2年生のみ)

6月 3日	水	学校再開(登校は1年生のみ)
6月 4日	木	3年始業式(出席番号偶数午前・奇数午後)
6月 5日	金	2年始業式(出席番号偶数午前・奇数午後)
6月 6日	土	1年入学式(教室にて)
6月 8日	月	分散40分短縮授業開始(奇数・偶数別登校)(～6月20日)
6月22日	月	通常授業開始

Zoom によるオンライン授業

休校期間中、東亜学園ではZoomを利用したオンライン授業を行った。休校が決定した4月当初は各教科から生徒に課題が配信され、生徒はその課題に取り組んでいたが、緊急事態宣言が延長され、学習の遅れが指摘されるようになり、オンライン授業が行われることに決定された。行われた期間は5月18日～31日までの2週間。

授業は1日3時間で、1週間の授業を2週間かけて行った。初めての試みであったため、

様々なトラブルが予測されたことや、通信量の問題などを考慮したためであった。1か月以上、教員と生徒、生徒と生徒は顔を合わせていなかったため、オンラインのため画面越しではあったものの、Zoomを通して繋がれたことにお互い安心感をおぼえたようである。

問題点も多々あったが、学習の遅れを少しでも防ぐという意味でも有用であったし、今後の新型コロナウイルスの状況次第で、再びオンライン授業の必要性が出てくるかもしれない

その時のための試運転という意味でも有益なものであった。



再開後のカフェテリア

救急救命による表彰

佐藤俊博先生(平成11年3月卒業・本校教諭)が人命救助を行い、学校規定により表彰された。令和元年12月17日、佐藤先生が三木先生と一緒に中野校舎から小平校舎へ向かう途中、2台前の車が全く動かないことに気が付いた。その車の脇にバイクが止まり、車の中に向かって声を掛けていたのを不審に思い駆け寄ると、車の中の男性の顔が青ざめていた。佐藤先生はバイクの運転手に救急車を手配す

るように頼み、男性の呼吸を確認した。呼吸が確認できたため、三人で協力をして車を押して脇に寄せ、救急車が来るのを待っていた。しかしその間に男性の呼吸が弱くなっていき、命が危険だと感じた佐藤先生は胸骨圧迫を開始し、AEDによる処置も行った。救急隊員が到着し、男性は搬送されたが、佐藤先生の救急処置のおかげで男性の命は救われたという。この人命救助の功を称え、佐藤先生は東京都消防庁・消防総監より表彰され、学校内においても表彰された。救命講習を受けてい

ても、咄嗟に行動にはなかなか移せないものだ。佐藤先生の判断力と行動力に敬意を表したい。



入試状況報告

現役合格率は82.8%

早稲田・立教・青学・中央・明治・成蹊・成城

進路指導 主事
阿藤 庸泰

1990年から始まった大学入試センター試験も今年度で終了します。この試験制度最後の受験に臨んだ受験生ですが、新入試への不安から全国的に年内入試希望者が例年以上に増加しました。

本校でも就職希望者が極端に少なく、ほぼ全員が進学を希望した年となりました。具体的には、338名中99.7%にあたる337名が進学を希望、291名が大学(省庁設置大学校を含む)・短大を受験し、248名が合格、合格率は85.2%でした。以下合格状況です。(令和2年3月24日時点での結果。数字は延数)

【進学】

大学・短大363名(大学351名、短大9名、専門職大学3名)。うち、AO・推薦による合格者は159名。省庁設置大学校3名。例年と異なり、今年の受験では省庁設置の大学校への希望が目立ちました。

専門学校65名。昨年の46名から今年は人数が大きく増加しました。各種学校1名。

【就職】

1名

求人は223件でした。

専門学校進学先

【文化・教養系】(15名)

御茶の水美術、神田外語学院、国際動物、

東京アニメ・声優&スポーツ、東京スクール・オブ・ビジネス、東放学園映画、東放学園音楽、日本外国語、日本ナレーション演技研究所、ミュージシャンズ・インスティテュート東京

【医療系】(23名)

板橋中央看護、大原簿記医保立川、関東リハビリテーション、慈恵看護、慈恵第三看護、首都医校、帝京高等看護、東京医薬、東京柔道整復、東京新宿メディカルセンター附看護、東京福祉、東京メディカルスポーツ、東洋公衆衛生学、都立板橋看護、都立北多摩看護、日本ウェルネス歯科衛生、日本大医附看護

【商業・実務系】(18名)

青山製図、青山ファッションカレッジ、大原情報ビジネス、大原法律、東京ウェディング・ホテル、東京デザイナー学院、東京ブライダル、日本工学院、日本工学院八王子、日本電子、HAL東京、文化服装学院、ホスピタリティーツーリズム

【美容・理容系】(4名)

東京ビューティーアート、日本美容、ハリウッド美容、山野美容

【調理・衛生系】(5名)

東京製菓、東京調理製菓、華学園栄養、二葉栄養

各種学校 1名

ハゲ岳中央農業実践大学校

就職 1名

野村建設

2020年度 合格大学・短大一覧 (数字は合格人数)

4年制大学		大東文化	7	日本	13
青山学院	3	高千穂	2	日本社会事業	4
麻布	2	拓殖	4	日本女子体育	1
亜細亜	9	多摩	1	日本体育	4
跡見学園女子	4	玉川	2	日本文化	3
桜美林	6	千葉科学	1	日本薬科	2
大妻女子	2	千葉工業	3	文化学園	2
嘉悦	1	中央	3	文教	1
学習院	1	中央学院	1	文京学院	4
川村学園女子	1	中京	3	法政	5
神田外語	6	つくば国際	2	武蔵	4
北里	2	津田塾	1	武蔵野	7
共立女子	1	帝京	15	明海	2
杏林	4	帝京科学	7	明治	3
工学院	1	帝京平成	12	明治学院	5
国学院	5	桐蔭横浜	2	明星	9
国際武道	1	東海	3	目白	5
国士舘	5	東京医療学院	2	横浜薬科	1
こども教育宝仙	4	東京医療保健	8	酪農学園	1
駒澤	7	東京家政学院	1	立教	2
駒沢女子	2	東京経済	2	立正	5
埼玉学園	1	東京工科	14	早稲田	1
札幌学院	1	東京工芸	1		
実践女子	2	東京国際	4	専門職大学	
芝浦工業	1	東京純心	2	国際ファッション	1
十文字学園女子	1	東京情報	1	情報経営イノベーション	1
淑徳	1	東京聖栄	1	東京国際工科	1
城西	2	東京成徳	1		
城西国際	1	東京電機	3	省庁系大学校	
湘南医療	2	東京都市	1	国立看護大学校	1
尚美学園	4	東京農業	4	防衛大学校	1
女子栄養	1	東京福祉	2	防衛医科大学校	1
白梅学園	2	東京富士	1		
駿河台	2	東京未来	1	短期大学	
聖学院	1	東京薬科	1	秋草学園短	1
成蹊	1	東京理科	3	共立女短	1
成城	5	東都	1	国学院北海道短	2
清泉女子	1	東邦	2	埼玉女短	1
聖徳	2	東洋	15	淑徳大短大部	1
西武文理	6	常磐	1	聖和短	1
専修	8	獨協	4	帝京大短	2
大正	2	二松学舎	2		

卒業生の活躍

平成27年3月卒

松山 恭助 氏

現在全日本フェンシング男子フルーレの主将を務めている松山恭助氏は、本校在学中に高校総体個人の部と団体の部で3年連続優勝をした。同じチームで活躍した数根



日本一賞受賞時の松山氏

崇裕氏も、松山氏とともに東京オリンピックを目指している。東京オリンピックに出場するに



は、世界ランク4位以内に入るか、アジアの中で最上位のランクになる必要がある。あるいは開催国枠での出場となることもある。

来年行われる東京オリンピックに出場するであろう松山氏と数根氏を応援しよう。

平成30年3月卒

平野 優芽 氏

本校卒業生の平野優芽氏は、女子7人制ラグビーの日本代表で、サクラセブンズの一員だ。日本代表チームは、東京オリンピック



体育祭での平野氏

の出場権をすでに獲得している。

リオオリンピックから正式種目となった7人制ラグビーだが、まだまだ認知度が高いとは言えない。しかし、昨年日本で行われた、男子ラグビーワールドカップでの盛り上がりを見ると、オリンピックでは、サクラセブンズにさらなる注目が集まるだろう。オリンピックでの平野氏の活躍を祈る。



躍動!東亜球児 ～コロナ禍に負けず四強進出～

新型コロナウイルス感染拡大による夏の甲子園大会中止を受け、東京都高野連が独自で運営する「2020年夏季東西東京都高等学校野球大会」が7月18日に開幕した。

本校硬式野球部は1、2回戦を順調に勝ち進むと、迎えた3回戦、強豪修徳高校を下し勢いに乗る都立小岩高校との一戦で、鈴木隆之介(3年)が七回参考記録ながら相手打線をノーヒットに抑える快投を見せる。これで勢いに乗ると続く城西大城西高戦、実践学園戦も危なげなく勝利し、準決勝にお

いて強豪帝京高校と対戦した。試合は3回に先制点を許すも、5回、俊足・巧打でチームを牽引する主将阿部敬太(3年)の逆転打で3対2とリード。鈴木隆之介の粘投で終盤まで勝ち越すも、8回に再逆転され3対6で惜敗した。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、2月末から3ヵ月以上にわたり部活動が休止追い込まれた。5月の緊急事態宣言による長引く休校で、春季都大会、夏の甲子園も中止。夏の甲子園を目標に努力してきた部員

たちの悔しさは計り知れないが、中でも武田朝彦監督のもとZoomによるミーティングや、各自の出来る範囲で研鑽の賜物によって、チーム一丸となって苦境を乗り越えてきた。コロナ禍により学校行事の中止など閉塞感の漂う学園内に希望の光を照らした硬式野球部に敬意を表したい。記録にも記憶にも残る特別な夏、東亜球児たちは確かな足跡をグラウンドに刻んだ。



2020年夏季東西東京都高等学校野球大会

7月30日	(木)	1回戦	昭和一	不戦勝
7月31日	(金)	2回戦	開成	8 対 3
8月1日	(土)	3回戦	都立小岩	7 対 0 (7回コールド)
8月3日	(月)	4回戦	城西大城西	6 対 1
8月4日	(火)	準々決勝	実践学園	7 対 0 (7回コールド)
8月6日	(木)	準決勝	帝京	3 対 6



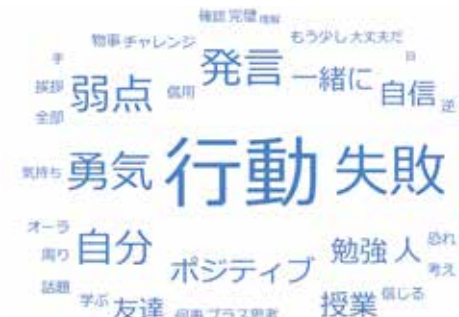
創(So)×トレ

今年度の1年生は、新型コロナウイルスの影響で集団訓練を行うことが難しくなっていました。しかしながら、本学園の教育の大きな柱の一つであります集団訓練は基本的な生活習慣を身に付ける機会として重要であり、コロナが猛威を振るう現在の状況でも開催できるものが求められました。そこで、集団訓練をさらに深化させたものとして、今年度からSocial adaptability training(社会適応力トレーニング)＝自分創造トレーニング、略して創(So)×トレが7月4日から8月4日まで行われました。

創(So)×トレは全4週間にわたって行われ、各週テーマが定められています。今年は試験と日程が重なったことにより、第1週は「集団で生活するためには」、第2週と3週は

「他者の長所の発見と自分自身の改善(変えること)」、第4週は「総まとめ」としてテーマを絞って実施。テーマについての訓話を毎週土曜日に校長先生からいただき、それを元に各クラスで、相互に活発な意見を交わすことにより価値観を広げてきました。

生徒たちは、朝のホームルームで投げかけられた問(Plan)に対して、1日を通して答えを模索します。そして、自分の考えをClassiNOTEに記入(Do)、また帰りのホームルームでは生徒たちの答えから作ったワードクラウドを担当が提示して、他の生徒の意見を知り(Check)、その上で自分の答えを改善していく(Action)というP(Plan)、D(Do)、C(Check)、A(Action)のサイクルを通して、他者の意見を聞き、クラスや学年などの集団としてのまとめと、他者への配慮、個々人の大人への成長の基盤を養うものとしています。



※上記は「自分の弱点を克服するためには」という問に対する生徒の考えのワードクラウド。少数派の意見ほど小さい文字になっているため、視覚的に認識しながら、そのような意見にも目を向けていく。

